



きしわは

学校教育目標「心豊かな未来を創る 子どもの育成」

令和8年1月23日

小田原市立新玉小学校

校長 山田 明子



第3回 学校運営協議会

6年生に聞きました！！

第3回目の学校運営協議会が1月19日に開かれました。事前に委員の方からはインタビューしたいことを聞き、6年生はそれに答えるという時間でした。次にその内容を簡単にまとめました。

Q1 「6年生の時、何冊くらい本を読みましたか。」

→250冊や200冊という人がいました。作者ごとに読んでいる、物語が好きとのことでした。

Q2 「あなたにとって新玉小学校の良さは何ですか。」

→転んでも痛くない「芝生」、「木質化」、少人数でクラス替えがなくて一緒に居られることです。

Q3 「大人になって小田原で暮らしたいですか。理由も教えてください。」

→暮らしたい人は、小田原は相模湾に面し、山も川もある自然の豊かさがよい。暮らしたくない人は、都会に出ていろいろな経験をしたいとのことでした。

Q4 「中学へ行って一番楽しみなことは何ですか。」

→「部活動」・「新しい友達」・「クラス替え」だそうです。逆に新しい友達ができるか不安、勉強が難しくなるのが心配、という声も聞かれました。

Q5 「今、はやりの言葉（自分たちの世代で通じる言葉）は何ですか。」

→ここで実際に言葉の使い方を会話形式で再現し、紹介してくれました。

終わってから教室で6年生は、一緒に給食を食べました。委員の方からは、「さすが、6年生はしっかりしていますね。」「給食後も静かに過ごせっていましたよ。」などの言葉をいただきました。新玉小で過ごす時間もわずかとなったなかで地域の方々とふれあう貴重な場となりました。

<6年生との給食時間>



【ふれあいプロジェクト】関連

給食週間の取り組み

12月1日から5日までに給食週間が行われました。日本で給食が始まったのは、明治22年1月、現在の山形県鶴岡市で「おにぎり」などを提供したことが記録として残されています。この時期にあわせて給食週間も実施したいところですが、1月下旬はインフルエンザなどの流行により欠席者が増える、ということがどの学校でもよく聞かれます。本校もこの点を考慮し、12月に給食週間を実施しています。

この週は取り組みの一つとして、栄養士が考えた「ご当地給食」が提供されました。「今日は何県かな？楽しみだな。」給食室前を通ると子どもたちのわくわくした会話が聞かれます。5日間で青森県・長野県・広島県・沖縄県・福島県の給食が献立に登場しました。給食週間にこの取り組みをスタートして2年目です。

また、1月からは給食室の前に「献立黒板」を購入して設置し、健康委員会が活動しています。健康で丈夫な体をつくるために必要な食育の充実の向上につながればと考えています。



【げんきプロジェクト】関連

～新年を迎えて…絵馬に思いを書く～

1月8日冬休み明けの朝会で校長より「干支」の話をしました。今年は「丙午」ですが、絵馬にも「馬」という字が使われています。諸説あると思いますが、その昔、生きた馬を神様に献上していたことが「絵馬」という語源にもなっているそうです。子どもたちや職員に絵馬にがんばりたいこと・願い事を書いてみよう呼びかけました。早速、「世界平和」「勉強をがんばる」「笑顔いっぱいの学校」など思い思いの考えを表現していました。

絵馬コーナーは、児童昇降口から入ってすぐのところにありますので、ご覧ください。

令和8年度入学・新一年保護者説明会

1月21日午後2時から令和8年度入学新1年生に向けた保護者説明会を行いました。ご不明点や心配事などがありましたら、遠慮なくご連絡ください。

【新玉小TEL: 22-5167・担当 教頭まで】